

街のみなさんにありがとう

森の朝は早い。日が昇るのを待ちきれずに小鳥たちの合唱が始まり、一日の幕が開ける。

森の中央にある公園に続く小道の両側からは、色の魔術師ではと思うほど、鮮やかな色彩を盛りこんだ紫陽花の群れが、手招きをしている。

やがて木漏れ日が草むらに注がれる頃になると、小道を老若男女が三々五々、語らいながら、あるいは笑いながら、足早に通りすぎて行く。

ほどなくすると公園の中央広場から、辺りの静寂を破るラジ操体のメロディーが森にこだました。その軽快な旋律にあわせて皆の身体が一斉に、揺れて跳ねる。

そして音楽がやむと、体操をおえた人たちが元来た小道を、賑やかに家路へとむかう。

だがその後、静けさを取り戻した森からは、先程とは違う、優しく懐かしい音色が聞こえてきた。帰ろうかと思っただが、その音に魅せられて近づいてみると、木陰の一角には木製のテーブルと椅子が設けられ

ており、そこには痩せ細った白髪の老人が、ハーモニカを愛おしそうに持ちながら、その傍らには大きな黒毛の犬がひざまずき、老人を見上げながら尾をふっている。

その名演奏ぶりからは、かなりのベテランとお見受けした。

名残惜しいが、そろそろ帰るとするが。

今ではすっかり、身体の自由が利かなくなってしまったが、この公園に出向くことにより、元気な人たちを見ていただけでも、この老いぼれには、たくさんの活力をくれるピタミン剤なのだ。

朝の情景スケッチに登場してくれた、街の皆さん、お陰で良い心象風景を描くことが出来ました。

本日に、ありがとう。
「さて、ばあさん、そろそろ帰るとするかあ、すまないなあ何時も車椅子の面倒をかけて。ありがとう。」
(世田谷区/H・A)

マッサージ師のお兄さんに

ありがとう

マッサージ師にかかっています。

彼は二十六歳、この職について五年目です。人の役に立ちたいという思いで、専門学校に入り資格を取りました。タイへ行つてポランテアで施術を施したりして、腕を磨きま

した。私の所へ来るとタオルをチンして、足裏を温め、血流をよくしてから指圧にとりかかります。

その間、四方山話をします。今日の話は坊主頭のことです。彼は中

高では陸上をしていて日々夢中で走っていたとの事、大汗をかいていても洗髪は簡単でもとても楽だったとのこと。

今度会うときは「坊主になつています。」というので

「頭の形がいいのかしら、私の子供の頃は絶壁とかラツキョウ頭とか、そんなアダンで呼ぶ子がいましたよ。」という

「僕はどちらかといえばラツキョウです。これからは暑くなるので、坊主がいいです。」

その言葉通り、次は本当に坊主で現れました。高校生みたいに若返りました。

いつも一生懸命、誠心誠意マッサージをしてくれます。人の役に立ちたいという思いが伝わってきます。ますます腕を磨いて長くこの職を全うしてほしいです。

左腕が痛くて上がりづらかったのが、スムーズに上がるようになりました。

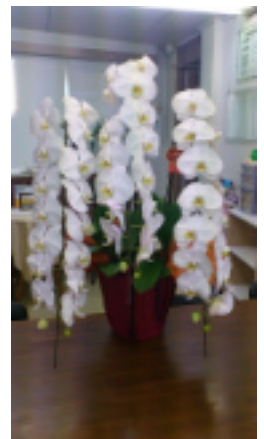
心からのマッサージ、ありがとう。
(目黒区/O・S)

胡蝶ランをありがとう

先日、普段仕事でお世話になつていらっしゃる主宰するパーティーに出席させていただきました。

このパーティーには毎年出席させて頂いており、パーティーの前の講演も含め毎回楽しみにしております。なかでも、私を含め多くの参加者が楽しみにしているもの一つに大抽選会があります。

これは、参加者有志の方々が賞品を提供して下さり行われるもので、



豪華な賞品が数多くあり、毎年とても盛り上がるものです。

今年の賞品も、今話題の東京スライターの入場券など例年以上に豪華なものでした。

その中で、一番目立っていたのが豪華な胡蝶蘭の鉢植えでした。胡蝶蘭の置かれた一角は他より一層華やいだ雰囲気を出しており、存在は抜群でした。

パーティーも終わりが近づき、お待ちかねの大抽選会が始まりました。当選本数が少なくないとはいえ、当りはしないだろうなあとはんやり眺めていたら、何と一番目立っていた鉢植えの胡蝶ランが当たりました。

近くで改めて見てみると、とても大きく、圧倒されてしまいました。大きすぎてどうやって持つて帰ろうかと心配していたら、賞品を提供していただいた花屋さん自ら配達してくれると言ってくれました。

そして、数日後事務所へ届いた胡蝶ランは事務所の雰囲気を一変させ華やかな、明るい事務所を造り上げてくれています。

そんな胡蝶ランと、パーティーにありがとうと言いたいです。来年もよろしく願います。

(文京区/A・H)

スズメさんにありがとう

この頃、朝はスズメのかわいいさえずりで目覚めます。

チュンチュン、チュンチュン。

「朝ですよ。」とペランダのスズメが声をかけてくれます。ドア越しに見えると、ハコベをついばんだり、小さな虫を見つけて食べています。私の体からほんの先の光景です。

こんな様子を見ると、昔コペンハーゲンのチボリ公園で見たスズメを思い出します。

ベンチに人が座っている場所から2、3mの所までスズメが近寄ってきま



す。スズメがハトのように人のそばにくるなんてすごいとその時はびっくりしました。それが今、私のペランダで起きています。ですから、こんな人々のそばに来るなんて安心していいのでしょうか。その安心をこわさないように「じゃ、また明日ね。」といつも離れます。

スズメさん、昔の光景を思い出させてくれてありがとう。日本も安心してできる国になったのですね。

(横浜市/Y・T)

紫陽花にありがとう

今月の初め、梅雨入りを迎え雨が降る中、紫陽花を見に鎌倉へ行ってきました。

最近、テレビドラマの影響もあり鎌倉が今まで以上に注目されているら

しく、休日はたくさん観光客で大変混雑していると話には聞いていたが、雨の日で有ればさすがにそれほど混雑してはいないだろうと思いがけ

たのでした。しかし、いざ鎌倉についてみると雨にもかかわらず非常に沢山の人が賑わっていました。

また、この時期の鎌倉では紫陽花をめぐるルートに最も人が集まっているように、落ち着いてじっくりと紫陽花を観賞する雰囲気とはいきませんで

した。そんな中でも、やはり雨の中に咲く紫陽花は大変美しく、梅雨の時期の紫陽花が一番美しいと改めて感じました。

次の日、昨日の紫陽花はきれいだったなあと思いつながり買物に行くと、駅前の花壇に咲いている紫陽花に気がつきました。

毎日、目の前を通って存在には気づいていたものの目を向けることはなかったのですが、鎌倉で見た紫陽花に負けず劣らず、大変美しく咲いて

いました。身近に咲いていた紫陽花に目を向けていなかった自分に少し反省しつつ、きれいな紫陽花を世話してくれている商店街の方たちにありがとうと言いた

(横浜市/K・T)

道路の清掃をありがとう

街中での喫煙条例が厳しくなると、たばこのポイ捨てが減り、街は以前より綺麗になったと思います。

以前、ゴミ置き場の収集作業の後は小さなゴミが乱雑に散らかり、汚いと

いう印象でしたが、近頃の収集作業員の人たちは作業後、カラス除けのネットをきちんと畳んで、散らばっている小さなゴミも手際よくかき集めて持って行ってくれる。収集後の場所はいつも綺麗です。

私は早朝の散歩を十五年続けています。五時半に家を出て町を一時散歩して帰ってきます。

最近の四、五年は道路を清掃している人が目立ちます。自宅前の道路だけでなく、散歩がてらゴミを拾って歩く老夫婦にも出会います。冬の五時半は真つ暗なのに二人は夏かわりなくゴミ拾いをしています。ポイ捨て禁止以来、住民の美意識が高まったように思います。

私の住んでいる近くに、建材を取り扱っている、社員十人ぐらいの小さな会社があります。その会社を中心に半径百メートルの道路はとても綺麗です。週三回のごみ収集日、建材会社の社員が早朝から道路の掃除をしているので

す。その一人に聞いてみると、四人ずつ交代で、当番の日は無給で三十分早出する、それは社員全員で決めたことだそうです。

私は彼らに会った時に「ご苦労様、おかげで家を出るとき帰るとき、とても気持ちがいいです。」と声をかけます。私自身も家の前、隣の道路は掃除するようになりました。

温かい光景でした。「こういう人がもっとも増えれば美しい町があちこちに来ます。」

建材会社の皆さん、いつもありがとう。

(目黒区/O・H)

【携帯 Deショット】

「タチアオイ」の花が咲き始めると梅雨入り宣言。ツンと伸びた茎の先の一番上まで花が咲く頃には梅雨が明ける。板橋区泉町の公園で撮影。天に向かって伸びる姿は勢いを感じて嬉しくなる。



携帯電話の方はQRコードから
パソコンの方は下記のURLから
<http://1039.seesaa.net/>
メールでのご投稿は...
info@holonics.gr.jp



【編集・企画】株式会社水ロニックス総研・編集部

【原稿をお待ちしています。】

本誌は北海道から沖縄までの友人知人から寄せた「ありがとう」のこぼれに因んだ思い出、作文、詩、俳句、短歌、写真、絵画などを掲載します。

作品は編集部までお送りください。投稿いただいた方には、ささやかな「ありがとう」のメッセージをプレゼントさせていただきます。

皆様からのご投稿をお待ちしております。また、ご自分のお名前や事業所名を刷り込んで、身近な方やお客様へ配布されてはいかがでしょう。編集へのご意見やご提案がございましたら是非お聞かせください。

